



教育

おおらか

さわやか

きわやかな人を育む大崎の教育

問 教育委員会 ☎476-1111(401)

◆大崎町学力アップセミナー『夏期講座』

夏休みの5日間（8月5日～9日）、町内の中学校3年生を対象に、学力アップセミナー『夏期講座』を実施しました。これは、3中学校の3年生が一同に会し、切磋琢磨しながら学習することで、学力向上への意欲の高揚を図るとともに、基礎学力の定着および向上を目指し、昨年度から取り組みを始めたものです。

今年度は55名が参加し、夏の暑さにも負けず、互いに励まし合いながら一生懸命に学習する姿が見られました。

参加した生徒からは、「競えるライバルが増えて、勉強がはかどった。」「苦手な分野を克服することができたので、とても充実した5日間となった。」など、講座への成果を感じる感想を聞くことができました。



僕の夢 私の夢

NO.3 大崎第一中学校3年 中村 愛理^{えり}

中1のとき、母の職場の人たちと一緒にご飯を食べたことがありました。そのときに私の隣に理学療法士の方がいて、周りの方々に理学療法士の仕事内容について話をしていたら、『とても大変な仕事だけどやりがいのある仕事だ』と言うその方の表情はいきいきと輝いて見えました。それから私は、理学療法士という職業に興味を持つようになったのです。

私は、今年の4月に足のじん帯を損傷するというけがをしました。病院に行くと、当分バレーをするのは難しいと言われました。6月には最後の大会である総体があり、わたしはとてもショックを受けました。体育の授業やバレーの練習、朝のランニングでみんなが運動をしているのを見て、体を思うように動かせないもどかしさを痛感しました。

その後、経過を診るための診察で病院に行く事が何回かありました。その時に、廊下で足の不自由な方の隣に付き添う理学療法士の方がいらっしゃいました。その理学療法士の方が、笑顔でやさしく話しかけながらリハビリを手伝っているのを見て、次第に理学療法士になりたいと思うようになりました。

理学療法士は、高齢者の方やけがをした方のリハビリを手伝うだけでなく、身体的な障害がある人に対して、治療体操などの運動療法や電気刺激などの物理療法を行う仕事です。

私は、自分がけがをしたことで、思い通りに体を動かすことのすばらしさを知りました。だから、高齢者やけがをした方にもそのことを知ってもらうため、理学療法士になって、運動機能改善のための手助けをしたいと思います。